

すみれ共同作業所 ニュース

第73号
2016年11月30日

社会福祉法人
大阪福祉事業財団
すみれ共同作業所
所長 松村 秀明
〒五三六〇〇〇
大阪府城東区古市一丁目三十八
電話(〇六)六九三四一四六〇七

事業内容

- ◆生活介護事業
なかまの働く店
「フレンドワーク」
「つなげるカフェ」
- ◆共同生活援助事業
グループホーム
「かえでの家」
「わくわくホーム」
「ほぷら」「いぶぎ」
「もえぎ」
- ◆日中一時支援事業
- ◆居宅介護事業
- ◆移動支援事業
- ◆指定特定相談支援事業

みんなのひろば「プレ」企画 *「みんなで、盛り上がったよ!!」



10月29日(土)、第40回福祉まつり「みんなのひろば」のプレ企画を開催しました。「みんなのひろば」は、障がい関係の団体で構成されているひろばで、主に障がい関係を含む福祉の現状、またその取り組みなどを地域の方々に知っていただくことを目的としています。

プレ企画当日は晴天の中、すみれ共同作業所、しろうきた福祉作業所、みどり福祉作業所、すみれ愛育館の4施設から、総勢70名以上の参加者が集まりました。



最初のプログラムはフラダンスでした。すみれ共同作業所でクラブとして定期的に取り組んできた練習の成果を、観客の前で披露しました。

緊張している人、楽しんでいる人、皆の表情は様々でしたが、それぞれに自分なりの表現をしていました。クラブメンバーの発表が終わると、次に参加者全員で取り組まれました。先生の見本を見て踊りましたが、すぐに振り付けを覚える人が多く、最後には会場全体が一体となってフラダンスを踊っていました。

次に3B体操に取り組みました。音楽に乗って体を動かし、中にはベルという道具を使ったり、ズム良く踊るように体操をしました。定期的に取り組んでいる人も初めての人も皆が笑顔で楽しそうに過ごしていました。

短い時間でしたが、みんなで場をつくり上げ、一人ひとりが輝ける時間となりました。プレ企画の勢いそのままに、11月13日(日)の本祭典もみんなで作くり、楽しい福祉まつりになりました。

(奥山)

季香

12月に日本漢字検定協会が、当年の世相を反映した「今年の漢字」を清水寺で発表しています。師走恒例行事として楽しみにされている方もおられるでしょう。昨年は、「安」。安倍首相・安保法案等の「安」であり、相次ぐテロ行為への不安の「安」でした。全く「安全・安心」ではない「安」でした。▼さて、私なりに今年の漢字を予想しますと、やはりリオ五輪で「金」という字でしょうか。次候補には「選」を挙げます。70年ぶりに20歳から18歳に選挙権の年齢の引き下げが行われた事は特筆すべきことかと思えます▼また私は是非選ばれて欲しいと思っている字があります。それは「平和」の「和」です。各国で勃発するテロや核保有問題を始め、平和が危うくなっている事態を改めて認識する必要があると思います。今一度「平和」の大切さを心に留めて今を振り返り、未来を見つめる一文字であつて欲しいです。

(青木)

第1回利用者交流会に参加しました! ねらえ ホールインワン!!



10月19日(水)、

きょうされんに
加盟する8施設
から、なかま20名
職員10名が集ま
り、鶴見緑地で
パークゴルフを行
いました。

一人ずつ自己紹
介をしてスタート。

1〜9番ホールま
であり、すみれは
5番から周り始
め、1番まで行く

ことができました。



参加者の西野さんは、ボール
とカップの位置を何度も確認し
慎重に狙いました。その姿はま
るでプロのようでした。田中さん
は力いっぱい打ちました。どんど
ん上達し、驚くほど離れた距離
からのホールインワンを決めハイ
タッチで大盛り上がり。秋本さ
んは男性のように一気に遠くま
で飛ばすことはないものの、一つ
ひとつ丁寧に進めていき、最後は
しっかりとカップにボールをいれ、
ちよつぱり照れくさそうに喜ん
でいました。

とても暑い日でしたが、「暑
かった」「疲れたな」でも
「楽しかった」「また今
度はみんなでしたい
な」とやりきった表情で
した。
(植松)

秋!! 活動に きました



いっぱい見て、いっぱい体験して、いっぱい楽しんだよ~! 郊外レクレーション Gグループの取り組み

「ウワー、汽車や〜!」
「こっちは新幹線や〜!」
館内に二歩入ったところで、
なかまのうれしそうな声が
響きました。

10月18日(火)快晴の中、
なかま9名職員3名が郊
外レクレーションに出発し
ました。郊外レクレーション
は作業所の取り組みの中
で、唯一、一泊の外出活動な
ので、なかま達もワクワク
感でいっぱいです。

1日目に訪れたのは、京
都鉄道博物館です。評判
どおり、広大な敷地に実
物の機関車や列車がずら
り!煙を吐く機関車に乗
り、しばし汽車の旅を楽し
んだり、列車の運転席に
座り、運転手を体験した
り…。日常とは違う空間

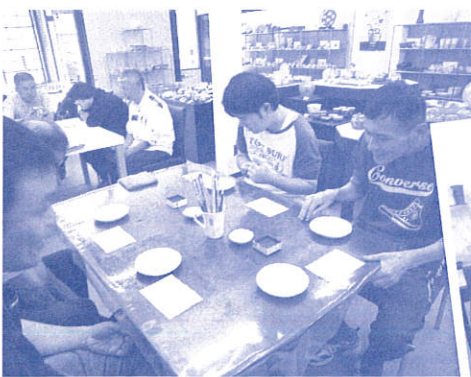


に、みんな大興奮!「しゅっぱつ
しんこう!」の声とともに笑顔
がこぼれました。

お土産を買った後は、次の目
的に挑戦しました。みんな初め
ての体験なので、ドキドキ!
の顔も真剣そのもので、素敵
な絵皿が仕上がりました。

2日目はヤクルト三木工場
を見学し、ヤクルトやミルミルの
製造工程を学びました。

あつという間の2日間でした
が、様々なことを体験し充実し
た時間を過ごしたなかま達。
素敵な思い出がまた一つ増えま
した。
(杉本)



なにわ道頓堀 コテコテツアー



10月24日(月)、
藤井美智子さん、
高山さん、木村さ
んのなかま3名

で道頓堀「コナモンミュージ
アム」に行つて来ました。

当初予定の「たこ焼き作り体
験」は待ち時間の列に驚き残念
ながら断念し、気持ちも切り替
え、道頓堀川をながめながらレ
ストランで女子会をしました。
話題は福祉まつりのことで「踊
りクラブうまく踊れるかな〜」
「がんばるな〜」と、話はずみ
楽しく過ごしました。

名所のグリコ看板前、法善
寺を散策し、帰
りは大好きなス
イーツ！チョコ
パフェ、抹茶パ
フェでカンパ
イ！ニコニコ顔で
終わりました。



11月7日(月)、富
永(貴)さん、橋爪さん
と奈良公園に行つてき
ました。お天気は雲ひとつ
ない快晴で、絶好のお出かけ
日和でした。

奈良公園にはたくさ
んの鹿がいて、何か食べ



鹿にビックリ! 奈良公園に行ってきました

物をくれるのかなと近
寄つてきましたが、富永
さんは、怖がる様子もなく鹿に
触れていま

した。

昼食は、
奈良県庁の
屋上展望
デッキで
ピザを食
べました。



行楽 外出 行って

10月28日(金)、竹
林さん、永田さん、横
山さんで江崎記念館
に行つてきました。

JRを利用し御幣島
駅で下車。おなじみの
グリコの看板が見える
と気分は急上昇です。

昔から現代までのグ
リコのイラストやおま
けのおもちゃが数え切
れないほどあり、「可愛
い」「これ見たことある」
と目を輝かせました。ワ
ンフロアでしたが、どれ
を見ればいいのかわか
らないくらいたくさん
のものが展示してあり、

外で食べるピザはまた格別で、
二人ともおいしそうにほお
ばつていました。展望デッキか
らは興福寺や若草山などの奈
良の景色が一望でき、橋爪さん
はゆつくりとその景色を楽し
んでいました。

(嘉幡)

子ども時代にタイムスリップ!!

歴史の勉強にもなりました。
70年代や80年代のグリコの
CMもあり、「ももえちゃんや」
と何十年ぶりに見るCMに懐
かしい気持ちになり、曲を口ず
さむ方もいました。



中央は、グリコ製品の戦前の自動販売機

帰りはハワ
イアンのお店
でランチ。みん
なでアイスの
プレートをし
ェアしながら、
ゆったりとし
た女子会とな
りました。

(植松)

きょうされん

第39回 全国大会 in くまもと

～障害者権利条約をこの国の文化に～

10月
22日・23日



今大会を熊本で開催する準備を始めた今年の4月、熊本地震が起こりました。
関係者も含め多くの方が被災し今なお復興途中にある中で、迷いと不安を抱えながらも開催を決意したのは、ハンセン病・水俣病という二つの大事件を経験した熊本から、「命と尊厳が守られる安心した社会」「差別や排除のない平和な社会」「一日も早い熊本の復興」の声を広げたいという思いがあったからでした。
全国各地から当事者を含む2200名を越える参加者がその思いを共有しました。また、神奈川県相模原での事件にもふれ、優性思想への懸念と人権の尊さについても確かめました。



12月2日(金)、大阪市役所の周辺にて、なかま・家族・関係者が集い、きょうされん市内ブロック主催の『ガンバルデー』も行われます。皆様のご協力をよろしくお願いします。

「あたりまえに働きえらべるくらしを」障害者権利条約を地域のすみずみに」をスローガンに始まります。

きょうされん第40次 国会請願署名・ 募金運動開始

人権を保障している憲法の大切さ、そして障害者の権利を守る為にも改憲を許さないというアピール文の決意をしつかりと受けとめ、前進しなければいけないという思いを強くした大会になりました。(藤原)

法人後援会 会員募集のお願い

社会保障・社会福祉の改悪が続くなか、権利としての社会福祉を前進させる為、皆様のご協力をお願い致します。

●大阪福祉事業財団後援会●

年会費 / 個人 3,000円 団体 10,000円
郵便振込 / 大阪 00900-3-14013

お申し込みは

すみれ共同作業所 又は
大阪福祉事業財団後援会事務局 まで
☎06-6931-2983

寄付・寄贈

(2016年7月～10月)

松岡様にジュース・ケーキなどをいただきました。ありがとうございました。

「福祉のひろば」のさらなる発展を

「福祉のひろば」が10月29日(土)、号記念のつどいが10月29日(土)、バトール大阪にて開かれました。

国労大阪合唱団の号笛の力強い合唱で始まり、主催者挨拶では、「福祉分野を総合的に捉え、厳しい福祉情勢を跳ねかえしていくために、読者を広げて300号では倍くらいに行きたい」との抱負が語られ、また、来賓・編集委員・執筆者の方々からも、心温まる思いや期待が述べられました。

ますます厳しくなる情勢のもとで、改めてひろばの重要性を再確認しました。(中村)

ご購読のお申し込みはすみれ共同作業所まで

